

YMTヒストリー 第2回

「山田マシンツールの創業の歴史を語るその2」

代表取締役社長 山田雅英



前回は、弊社の祖業と言える商事部門を主に、歴史を述べさせていただきました。創業で前社長の山田登羅敏は商社を立ち上げながら、自社ブランドを持ったメーカーになることが夢でありました。昭和三十五年、川口で自動盤という小型工作機械を作り始めました。その後、昭和三十八年に埼玉県与野市(現さいたま市)に、工場を建設し生産の拡大を図ります。しかし、競争の激化と割賦による販売の回収に苦戦し、自動盤のビジネスからは撤退を余儀なくされます。その後しばらくは、商事部門のお客様から治具製作などのお仕事を頂戴して食いつなぐのですが、昭和四十三年にOEMで山田ブランドのナンバーリングヘッドの製作をお願いしていた取引先が廃業するということを機に、自社でナンバーリングヘッドを生産するようになりました。当時ナンバーリングヘッドは、日本の工業の量産化の波に乗りお陰様で順調に販売させていたため、元々は曲りなりに工作機械を生産するために作られた工場です。その技術をもって大掛かりな刻印専用機ができるのではないかと山田登羅敏は考えました。その後、多少の紆余曲折はあったのですが、苦心惨憺しくつかの特許を得しつづ独自技術で作り上げた自動選字刻印機が、カーメーカー様にご採用いただくようになり、刻印機メーカーとしての地盤を確立することが出来ました。目下、弊社製の刻印機は、カーメーカー様各社をはじめ、多くのユーザー様の海外を含めた様々な工場で、日夜稼働しています。永年のご愛顧に対し、この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

YMTニュース 『バリ取り講演会』

平成二十三年十一月十五日東京都内にて「製品価値を向上させるエッジ品質によるバリ取り評価の実際」と称しバリ取り講演会を開催させて頂きました。

近年の国内製品における高品質基準はバリ取り仕上げの品質も向上させており、いかに安全・確実・簡単にバリを取れるかという「バリテクノロジー」(バリ取り技術)は様々な業種で重要視されており。

本講演では様々なバリ取り方法の紹介からバリ取り・エッジ仕上げの管理方法、自動化の方法、そしてバリを出さない、抑制する方法まで様々な視点でご紹介をさせて頂きました。

今後最新のバリ取り技術をお届け出来る様努力して参ります。もしご説明や研修のご相談など御座いましたらご遠慮なく連絡下さい。(機工営業部 反町)

社員発！特集記事

『EMOショー第2弾』

皆様、本年も山田マシンツールならびにYMT通信を宜しくお願いいたします。さて、EMOショー視察記事の第2弾ですが、前回の記事で展示会場の広大な敷地面積(東京ビッグサイト約6倍)について触れましたが、今回はその広い会場内の移動手段についてです。会場内はなんと会場全体を隈なくカバーするシャトルバスが運行されており。もちろん料金は無料です。ひとつの「街」のような敷地ですから、会場を端から端まで徒歩で移動しますと、食後の軽い運動どころではありません。メタボへの第一歩ですが、シャトルバスを利用しない手はありません！ちなみに、EMOショーの入場券は、会場への公共交通手段であるハノーバー広域運輸(GVH)の電車・バス乗車券として使えるのです。切符の買い方がよくわからない外国人にとって、このサービスは大変助かります。日本でも是非このような地域ぐるみ・国ぐるみで見本市をサポートする態勢を整えていただきたいと思ひます。(機工営業部 小玉勇輝)

山田マシンツール 特殊機械工具 ・ 輸入工具 のご紹介

今使っているバリ取り方法、ちゃんと取れますか？

面倒なバリ取りを
ツール1本で自動
化！

バリ形状に合わせ
特殊刃先を提案

同径穴
も対応！

斜め穴も
対応！

簡単なのにモノ凄い バーカットBC



1パス高速バリ取りツールで安全確実なバリ取り

ハイスピードデバリングツールはクーラント圧や空圧を媒体としてバリ取りブレードを制御し、バリを確実に除去します

大きなバリは先にプレデバリングで叩き落として除去

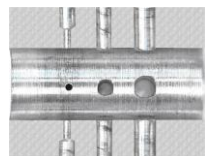
交差穴手前部分から圧力を掛け刃先を突出させる

カッティングエッジが小さなバリ除去と面取りを行う

ツール外観写真



ハイスピードデバリングツール



多穴でも高速バリ取り

YMTTニュース 第2回

『METALEX出展報告』

読者の皆さま、旧年中は大変お世話になりました。今年は、社会の様々な枠組みが、これまでとは違う価値観に基づいて再構築(バランス)されていく一年になると思います。その意味では、個人の内面の価値観もドラスティックに変わっていく年となる訳で、タイにおいては大量生産、大量消費という枠組みからの脱却元年になるのではないかと推察しています。当社の商材、サービスが役に立っている環境が、このタイでも整ってきたと考え、チーム一丸で、リスクを恐れず頑張るつもりです。

さて、東南アジア最大の工作機械見本市であるMETALEXが、二〇一一年十二月二十一日(水)～二十四日(土)の4日間、バンコクにあるBITECHという見本市会場にて開催されました。本来この見本市は十一月中旬に予定されていたのですが、既報の通りの洪水もあり、やむなく十二月のそれもクリスマス絡みでの強硬開催に変更となったとあって、日系工作機械メーカー各社を始めキャンセルが相次ぎ、例年メインホールを5ホール使用しているところを、今回は4ホールに縮小されて行われました。

洪水対応等で各社忙しい毎日を通り越している中で、お客様が集まるのかと不安もありましたが、「こんな状況だからこそ、本当に新規技術に興味のあるビジターが集まる」と考え直し、メンバー一同モチベーションに再点火して準備。会場での対応、撤収と頑張ってくれた点が、個人的には一番の収穫でした。もともと、タイの人たちはこう言ったお祭りの類が大好きなのですが、実際の状況としては、蓋をあけてみると予想よりは盛況で、具体的な質問をされるお客様が例年よりもずっと多かったように思います。

また、YMTJから山田(雅)社長、山田(庸)常務、日伸精機殿からは北田取締役が応援に駆けつけて頂いたお陰様で、肝心の出展主催者である私や内谷君が客先を飛び回って中々ブースに常駐できない中、何とか大きな失敗もなく無事に会期を終える事ができました。

来年は、当社も自社ブースを構えて出展の予定です。今年からPOLIANGOLAR等、輸入工具新規商材が増え、またALCONE EWSも今回初めてデモ機の作動展示が出来たことで、来年へ向けた大きな自信となりました。

最後になりましたが、今年が皆さんにとって素晴らしい変化の一年となります様、祈念いたします。



新入社員紹介 『機工営業部』

石田浩明

第二回目のYMT社員紹介は今年五月入社した機工営業部期待の星石田浩明君にインタビューしたいと思います。

まずは自己紹介をお願いします。

石田浩明です。年齢は二十三歳です。出身は千葉県山武郡芝山町で成田空港の近くです。3歳の時に千葉市より引っ越してきました。

サッカーが得意とお聞きしましたが。

小学校の二年生からクラブチームに入りました。もちろん中学もサッカー部、高校では千葉敬愛高校でインターハイに出場、2回戦まで行きました。このサッカー魂を仕事に活かせればと思っています。

機工営業部ではどんな仕事をしていますか。

輸入工具を販売しています。主に旋盤に使われる工具を扱っています。実際に加工している現場を見ていると大変面白いです。しかし仕事は大変です。覚える事が沢山あります。でもお客様の納入立会いが上手く行ったときは非常に達成感があります。これからもお客様の為になる営業を目指して行きたいと思っています。



マイタウン台東

『いなば』

食べごたえ満点の男前ラーメン

うおー!!出ました。とんこつベースでカツオの香りと濃厚でしっかりとしたスープ、かみこたえのある自家製麺。豚骨のくさみがなく、こってりした中にうまみが凝縮したボリューム系ラーメン。

明日が大事なプレゼンの日だったり、何となくやる気がおきない日などにはしっかり食べたい味のラーメンがお好きな方は是非一賞味下さい。

(BY DEE)



店の外観



地図



つけ麺(並)
750円



濃厚豚骨ラーメン+味付たまご
(750円)

山田マシンツール マーキング装置 ・ 刻印機 のご紹介

業界最安値キャンペーン!

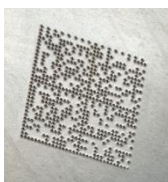
《マーキングデビルの特長》

- 1、マーキングは点加圧によって行われる為、ワークへの負荷が極めて小さく、形状精度を劣化させません。
- 2、平面だけでなく、比較的变化量の小さい凹凸、曲面などにもそのままマーキングが可能です。
- 3、Windows版標準マーキングソフトが付属。プレビュー方式で、操作はいたって簡単。
- 4、卓上式の本体は設置が容易。銘板、部品等の多品種少量のマーキングに適します。



「ご好評により」
「マーキングデビル」
キャンペーン第2弾!!

2Dコードマーキングも可能になりました。



キャンペーン価格についてはお問合せ下さい⇒TEL048-851-1122